

# 進路支援通信

湘南養護学校  
支援連携部進路支援係  
No.7  
令和2年2月13日

SHONAN CAREER SUPPORT LETTER

## 『企業と語ろう in 湘南中西部』が開催されました

1月9日（木）、小田原養護学校にて湘南中西部の特別支援学校（秦野養護学校・伊勢原養護学校・小田原養護学校・湘南養護学校・茅ヶ崎養護学校・平塚養護学校）主催で「企業と語ろう in 湘南中西部」が開催されました。この会は、NPO 法人障害者雇用部会に参加している特例子会社の方々が講師として参加しており、就労に向けて小さなころから家庭でどんなことを準備していくとよいかということディスカッションできる場になっています。

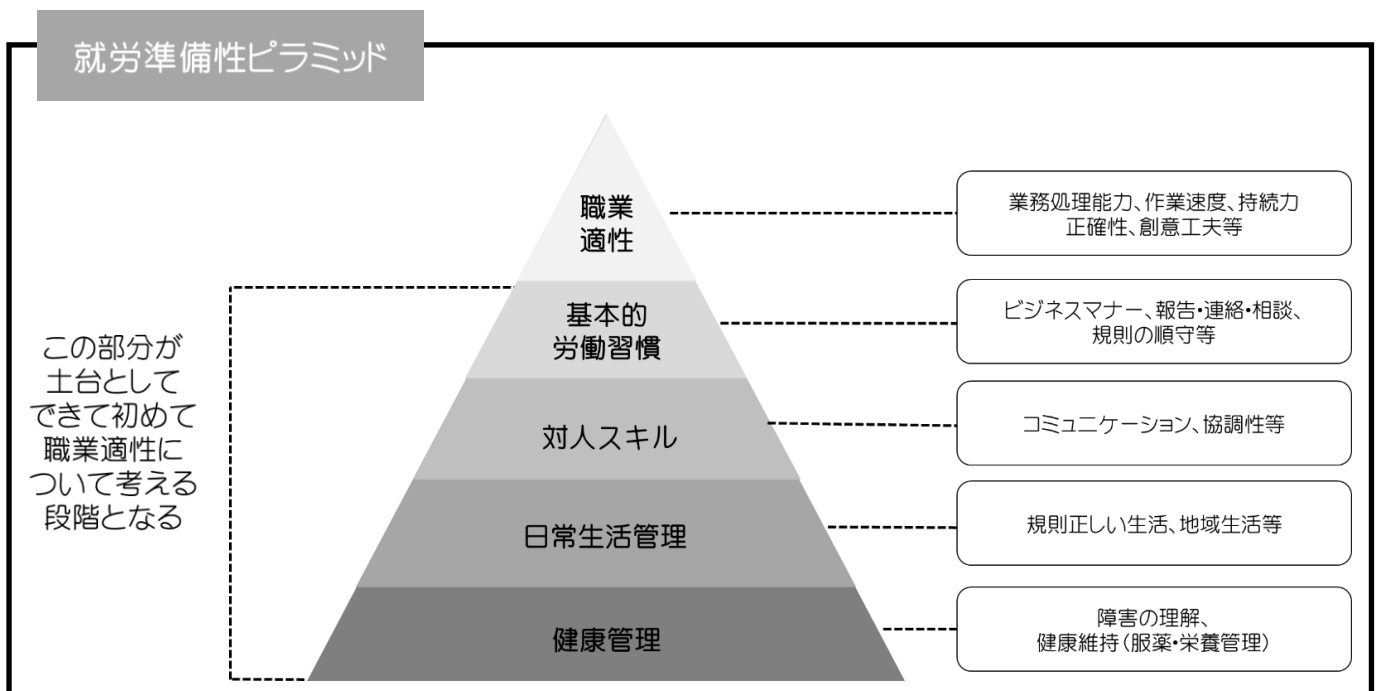
当日は、地域の小・中学校、インクルーシブ校、特別支援学校に在学中のお子さんを持つ60名の保護者の方にご参加いただきました。各グループ5名～6名の少人数で構成されていたこともあり、活発にディスカッションが行われていました。

企業の方からお話いただいた内容をいくつかご紹介します。

### ✿企業就労するために必要な力とは？✿

下の図は「就労準備性ピラミッド」というもので、就労支援などを行う機関で利用されているものです。働き始めることはゴールではなく、スタートです。どんな仕事合っているのかを考える前に、働くために必要な力について知り、身に付けていく必要があります。

「この子なら作業はできそうだから就職できるわ」と思うこともあるかと思いますが、実は就職するには作業ができるかではなく、健康管理から集団生活、社会生活ができるかどうか重要になってきます。職業適性については採用する企業が判断するため、その土台（健康管理、日常生活管理、対人スキル、基本的労働習慣）ができていないと就職には結びつきません。



## ✿働く上で大切なこととは？✿

### ① やる気

◇ 一生懸命取り組む姿勢がある。一生懸命さは伝わる。

### ② 素直さ

◇ 会社で言われることに対し、真摯に聞く姿勢がある。  
◇ 聞いた内容を理解し会社のルール通りに行動することができる。



### ③ 挨拶・返事

◇ 知らない人に対しても礼儀正しく挨拶ができる。

### ④ 時間

◇ 時計を読むことができ、時間の概念を理解している。会社は「〇時までにはこの仕事を行う」というように時間で動いている。

### ⑤ 体力

◇ 働き続けるための体力をつけている。

### ⑥ 働く意味

◇ 「何のために働くのか？」を理解している。このことがあることで働くモチベーションにつながる。



## ✿就労に向けて家庭でできることとは？✿

### ① 色々なことを経験する

◇ 「うちの子はできないことが多いからやらせたらかわいそう」と思い親がやってあげてしまうことがあるが、本人の将来を考えると、やらせないことの方が本人にとってかわいそうになってしまう。  
◇ 家の手伝いを行うことでも色々なことが身に付く。

### ② 趣味を持つ

◇ 好きなことがあることは、仕事のモチベーションにつながる。

### ③ マイルールだけではなく、社会のルールにも目を向ける

◇ 社会に出ると自分（子供）が社会に合わせなければならない場面が多い。そのため、マイルールではなく  
なという  
と接して



他の人はどうか  
視点でお子さん  
いただきたい。

## ☆手伝いについて☆

前述の『就労に向けて家庭でできることとは?』にもありましたが、今回ほとんどの企業から「是非ご家庭で手伝いをさせて欲しい」という話がありました。手伝いに関しては、学校でもよくご家庭にお話をさせていただいており、卒業後の自立と社会参加に向けどのお子さんにも大切な経験であると考えています。では、手伝いといってもどのようにさせたらよいのか?聞いたお話をまとめました。

### ① ルールを設ける

◇ 会社では必ずルールがある。そのため、手伝いでも物の置き場所や手順などルール通りに行うことで、ルールを守ることが身に付けられる。

### ② 手伝いの対価（お小遣い）を渡す

◇ 仕事をする→お金をもらう→好きなことに使える→また仕事をすれば好きなことに使えるお金がもらえる、と仕事に対する意欲や働く意味、モチベーションアップにつながる。

### ③ 「ありがとう」と伝える

◇ 役割を与え、しっかりできた時には「ありがとう」と伝えることで、達成感ややりがいにつながる。



今回ご紹介した内容以外にも企業の方からはたくさんお話をいただき、参加された保護者の方からは、「少人数で直に企業様と話せる機会は貴重でした」「もっとお話を聞きたかったです」等、有意義な時間であったことが伺える感想をいただきました。

ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

#### <NPO 法人障害者雇用部会とは>

「1人でも多くの障害者を、よりよい環境で、より長く雇用する」を基本理念とし、平成15年2月にNPO 法人障害者雇用部会が設立されました。県内の特例子会社と障害者就労援助センター、特別支援学校さらには個人の加入者を含めた会員で組織され、定例会や企業セミナーを開催し、会員はもちろん、施設職員、国や県、市の職員等の様々の分野の方々が携わっています。

特例子会社会員に雇用されている障害者の数は、年々増加の傾向にあります。障害者雇用に関しては企業努力による様々な施策がなされています。また、特例企業の各社へ特別支援学校の生徒・教員やジョブコーチ等の多数の実習受け入れを依頼し、さらには様々な分野の方による企業見学会等を実施しています。

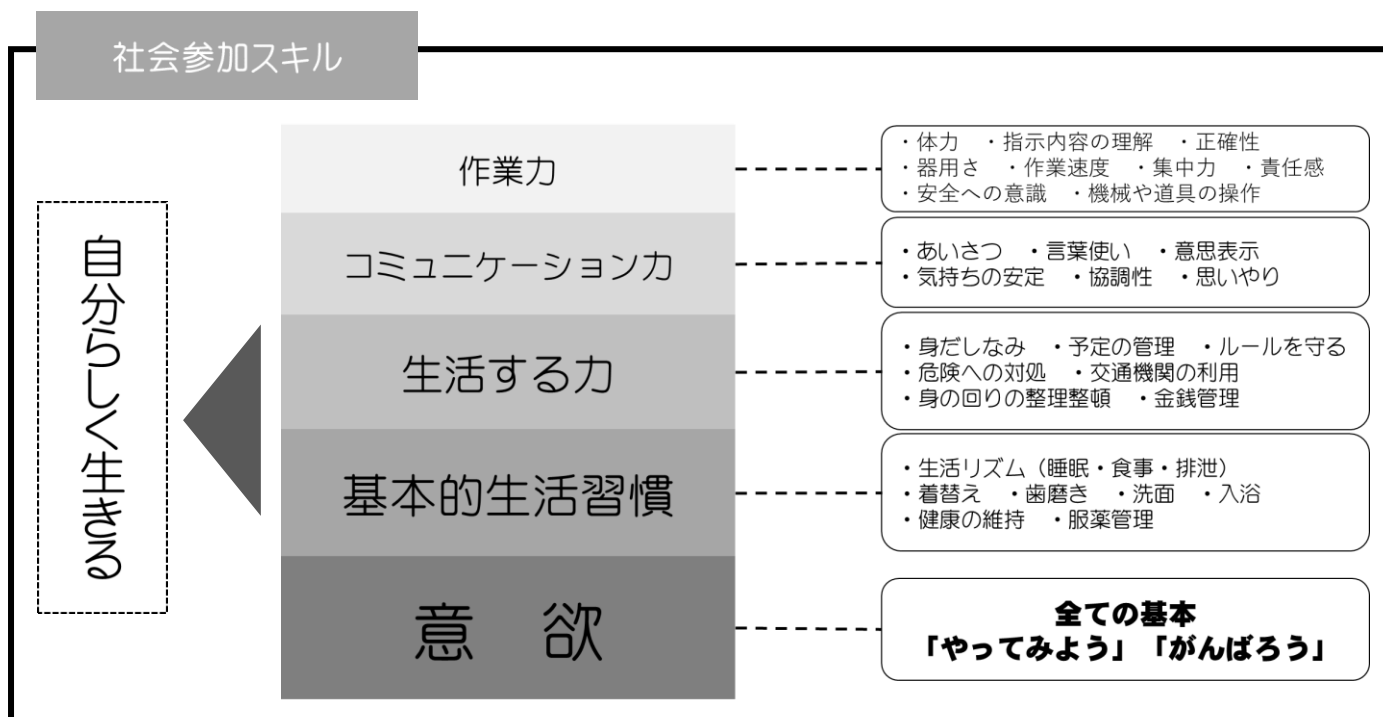
※雇用部会に加入していない特例子会社もありますが、働く上での配慮をしてもらえないということはありません。

#### <特例子会社とは>

障害者雇用制度というものが、企業は法定雇用率（現在は2.2%）に相当する障害者雇用を行うことが義務付けられています。そこで障害者雇用の促進及び安定を図るため、事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し一定の条件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、実雇用率を算定できることとしています。その認定を受けた会社が特例子会社です。

# 学校が伝えたい「社会参加スキル」とは？

最近様々な場面でお話させていただいている「社会参加スキル」をご紹介します。『企業と語ろう in 湘南中西部』の話であった「就労準備性ピラミッド」と項目は似ていますが、学校が伝えたい「社会参加スキル」は就労を目指すお子さんだけでなく、卒業後の社会参加のために小・中・高どの学部のお子さんにとっても大切なものとなっています。



どの項目も卒業後の社会生活には大切なことではありますが、まずは土台となる部分が全ての基本となります。そのために、例えばご家庭で「手伝いをさせ、できたらほめる」ということや、その他の場面でも達成感を持たせられる工夫や支援を日常生活の中で積み重ねていくことが、意欲を高めることにつながっていきます。

現在、学校でもこの「社会参加スキル」を共有し、児童・生徒のどの部分が伸びていくといいかなと意識しながら指導にあたっています。学校と家庭それぞれでできることは異なりますので、協力しながら取り組んでいければと思います。

進路指導担当は、普段なかなか小・中学部の保護者の方とお話する機会がありませんが、進路学習会の際や普段でも、気になることなどありましたら、ぜひお気軽にお声がけください。

